

# 静岡精華学園報

令和3  
2021  
春季

発行者:学校法人静岡精華学園 〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 TEL.054-656-2100(代) www.s-seika.jp

SHIZUOKA  
SEIKA  
GAKUENHO  
VOL.1

## 仕切り直しのスタートに向けて

大成中、高の理事長室の前の葉桜の緑がきれいです。毎年花をつけますがかなりの老木です。福祉大学の桜並木は4月2日の入学式には満開でした。今年のお花見はこれで充分と思いました。幼稚園には、なんじゃもんじゃ(ヒトツバタゴ)の木が一本あり、白い花をつけていました。このほりも気持ちよさそうに泳いでいました。コロナが猛威を振るう中でも自然はいつものように生きています。いつまで続くか不安ですが、早く終息して、マスクなしで、お互いの顔を見て話したいと切に願います。

この度、古牧理事長の後任として就任しました、杉原桂子です。中学、高校と精華で学びました。在学中にもっと運動をやっておけば良かったと後悔が残りますが、あの厳しい練習にはついていけなかったでしょう。大学は東京に出たのですが、男子の方が多いうえに静岡の女子校で育った私はキョロキョロするばかりで、何に取り組めばいいのかわかりませんでした。

私に備わっているものと言えば父、杉原正六の後ろ姿を見て育った事です。父はインパル作戦の生き残りで、修羅場を見てきたのでしよう、自分から戦争の話はしませんでした。敗戦後2年くらい生死がわからなかったようです。やっと帰国できたら、待ってましたとばかり、7年間

の空白があったにもかかわらず、すぐに校長になりました。それからは皆さんの協力を得て精華の再興に尽くしました。私学協会長もやって、人の2倍は働いたと思います。遊び心に欠けていましたが、誠実でした。「門前の小僧習わぬ経を読む」が私の体にしみていれば幸いです。

少子化が進む中で「私学がいかんにかに生き残るか」は本学園にとっても大きな課題です。大学、中、高とも定員割れが続いています。入学者には満足いただける教育を提供している自信はあります。

福祉大はとても素晴らしい環境の中にあります。しかし最大の問題は焼津駅からの交通の便が悪い事です。これを何らかの方法で解決しなければなりません。

中、高の立地はとても良いです。でも敷地は狭いので運動部は練習場に苦慮しています。公立志向が強い静岡で生き残るには相当な魅力が無ければなりません。「面倒見が良い」は大きな魅力ですがもう一つ欲しいです。中学は「外部の高校を受験していい」を売りにして建て直して成功しました。しかし、中高一貫が私立の真髄ですから何か良い方法で一貫教育を考えなければなりません。

幼稚園の敷地は狭いながらも日当たりの良い園庭で園児は楽しそう



静岡精華学園 理事長  
杉原桂子

に遊んでいます。「三つ子の魂百まで」とは良く言い当てています。あの園児たちのような気持を持ち続けたいと思います。

とりとめのないことを書かせていただきました。私が精華学園の為に何が出来るか?皆様のお力添えで少しでも上向きになりますようにと思います。その為には大学、中、高、幼稚園が一体となり一人一人の職員が「我が家の危機」と思うくらいの気持ちが必要だと思います。理事長室に是非お立ち寄りください。

掲載中の文章は2021年4月頃作成となっております。

# ひとり一人の夢の実現を支える 高等教育機関として歩む

静岡福祉大学 学長 太田晴康

静岡福祉大学は少人数制教育を通じて、「主体的に学習する力」「実践的に課題を発見する力」「表現し創造する力」など、学生が4年間を通じて身につけることができる7つの能力を掲げています。平成16(2004)年の開学以来、私たちは「福祉」の分野にとどまらず、心理、教育の分野においても専門職を社会に送り出してきましたが、こうした特色と個性が評価され、現在では就職先の約3割は福祉以外の企業等となっています。専門性の高い分野で公務員として活躍している卒業生も少なくありません。本学のスクールカラーともいえる共感能力の高い学生の資



質や能力を期待されてのことでしょう。

折しも平成から令和にかけて高等教育のあり方が大きく変わりつつあります。変化の理由の1つは今後も少子化が進むという社会経済的な要因を背景に、高等教育を受ける意欲のある全ての人に学習機会を保证するという意識の高まりでしょう。国連は「持続可能な開発のための2030アジェンダ」及び「持続可能な開発目標」(SDGs=エスディージーズ)を掲げていますが、そのなかで「質の高い教育をみんなに」という項目を設けて教育機関に高い期待を寄せています。本学で学ぶ学生たちは、まさにSDGsが取り上げたさま



ざまな課題を解決するため、その中核を担う未来の人材であり、2030年以降の社会で活躍する主役といえることができます。

今後も学生のひとり一人がその夢を実現可能な高等教育機関として、誰もが安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、歩み続けたいと思います。



## 人間育成教育の出発点を担う

静岡精華幼稚園 園長 幾田光男

淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。この鴨長明のメガネで本園を見つめ直してみると、本園静岡精華幼稚園も何ら違うことなく、創立以来65年、一時も休むことなく流れ続けていることが確認できます。しかも、流れる水は常に新水で、今日も改新、改革、創造という名の花びらを浮かべて明日という名の岸辺を目指します。

ところで、幼児の学びは、知識の獲得、技能の習得、知恵の形成、認識の生成を目的とします。泥団子作りを例にとって見てみましょう。Aちゃんは、年長さんたちが泥団子を作っているのを見て自分も作りたくなり、足元の土を丸めてみました。でも、土はすぐに崩れ、手からこぼれ落ちました。Aちゃんは、年長さんの手元に目をやりました。「そうか、水だ!」Aちゃんは土に

水を加えてみました。粘性が生まれ、土がまとまりやすくなりました。でも、まだうまく丸められません。Aちゃんは、試行錯誤を繰り返し、何度も何度も試み続けました。やがて、曲がりなりにも団子が出来上がりました。Aちゃんは、でき上がった泥団子を自分の靴箱の奥にそっとしまいました。

失敗を繰り返しながら自分の手で作り上げた泥団子。Aちゃんは、体を通して土

# 新たな時代に活躍する『人』を育てる

静岡大成中学校・高等学校 校長 山田隆司

1903年(明治36年)、創立者杉原正市先生は、「時代に即応する新しい女性の育成」を建学の精神に掲げ、私立静岡精華女学校を創立いたしました。厳しく礼儀作法を教える一方で、体育と弁論を奨励し、テニス・陸上・バレー・バスケットなどのスポーツを積極的に教育活動に取り入れ、年3回の弁論大会を実施しました。大正後期から昭和前期の頃の本校運動部の活躍は目覚ましいものがありました。また、「校内意見発表会」という弁論大会は現在も行われています。

その他、遠足、修学旅行、富士登山など当時の女子の学校では他に例のない行事を実施するなど、極めて斬新な近代的女性の育成が実践されました。杉原先生が思い描く「時代に即応する新しい女性の育成」とは、「10年後100年後を見据えた新たな時代に活躍する女性を育てること」でした。

創立から100年がたち、杉原先生が思い描いていた、女性が社会で活躍する時代となりました。静岡精華中学校・高等学校は、校名を静岡大成中学校・高等学校に

変え男女共学となりました。創立者の意思を引き継ぎ、「時代に即応する新しい人材の育成」を建学の精神として、10年後、100年後を見据えた新たな時代に活躍する『人』を育てる教育に目的を切り替え、新しいスタイルの学校としてスタートしました。

静岡大成中学校は、2003年度(平成15年度)入学生から、公立高校への受験が可能となり、『スターライトクラス』という夜間授業によって、進学校への進学実績を伸ばし大成中学のブランドを確立しました。

静岡大成高等学校は、2002年度(平成14年度)入学生から、自分の進路希望に合わせて科目が選択できる『総合選択制』を導入し、大学進学、専門学校進学、就職がほぼ3分の1ずつという進路実績が定着し、進学も就職もできる私立高校というスタイルを確立しました。

2017年度(平成28年度)には、「ICT総合計画」を作成し、高校進学選抜クラスに一人1台のiPadを導入しました。その後、中学・高校の全クラスにプロジェクターを設置し、ICTを活用した「わかりやすい授業」



や「アクティブラーニングによる授業」に取り組んできました。そして、2021年度(令和3年度)から、GIGAスクール構想を導入し、中学生全員と高校1年生全員が一人1台のiPadを持ち、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に取り組んでいるところです。

静岡大成中学校・高等学校になって18年がたちました。10年後を見通すことさえ困難な時代ではありますが、建学の精神の実現に向けた教育を断行し、さらに50年、100年の歴史を刻む伝統校にしなければならぬと、学園報創刊を機に気持ちを新たにしております。



と水と粘性の関係を知るとともに、丸めるための技術を習得し、明るくさらに改良を加えるために壊れないところに保管するという知恵を働かせ、壊れやすい泥団子も上手に保管すれば制作作業を継続することができることに認識しました。これが幼児の学びです。

幼児は遊びを通して学び、成長していきます。したがって、遊びは教材です。教科書です。そして、学びは正にアクティブラーニングです。私たちは、子どもが自ら教材を見つけ、自ら学びを展開していけるよう適切かつ意図的に環境を設定して



いきます。

アクティブラーニング。これから重要視される学びの形態です。私たち静岡精華幼稚園は、常に10年先、15年先を見通しながら人づくりをスタートさせています。

## まだ自分の思いをうまく伝えられなくて

### 静岡精華 幼稚園

「うわあん。」次々と登園してくる子のお着替えを手伝っていたマリ先生の背後で、大きな泣き声が起こりました。振り向くと、カッチャンがヨシくんの手を噛み付いています。マリ先生は、急いで二人を引き離しました。カッチャンが噛みついたのは、ヨシくんの左手です。親指の付け根にはくっきりと歯型が残っています。びっくりしたのと痛かったのとで、ヨシくんはまだ大泣きしています。一方カッチャンの方は、先生による突然の引き離しに驚きとたじろぎの同時襲来を受けてしまったふうで、今にも泣き出しそうな顔で床に目を落としています。

「ヨシくん、痛かったね。痛かったね。今冷やしてあげるからね。」マリ先生は、保冷剤をタオルに包み、ヨシくんの手に当てました。「さあ、もう大丈夫。冷たくて気持ちいいでしょう。痛いの、痛いの、飛んで行け。ほら、もう痛いの、消えちゃったでしょう。」マリ先生は、そう言いながらヨシくんの手をタオルを押し当てたまま両手でヨシくん



の手を持ち上げ、ブラブラと揺すりました。もうとつくに痛みの引いてしまっているヨシくんは、予期しなかったマリ先生のもてなしに、嬉しいような気恥ずかしいような不思議な思いに包まれながら、ただただにこにこしていました。

ヨシくんから手を離れたマリ先生は、今度はカッチャンの両肩を両の手でかかえました。そして、カッチャンを覗くようにしながらカッチャンに語り掛けました。「カッチャン、ヨシくんは痛かったんだよう。カッチャンがヨシくんの手を噛んじゃったから、ヨシくんは痛くて泣いちゃったんだよう。カッチャン、どうして噛んじゃったのかな。」そう語りかけながら、その一方で、マリ先生は一生懸命状況を推測し、経緯の把握に努めました。入園間もない年少さんのこと、周りの子どもたちに聞いてみてもらちはあきません。先ほどの自分の位置、カッチャン・ヨシくんの位置、そして動き。それぞれを懸命に想起し、カッチャンがヨシくんを噛みつきたいきざつを推し測っていきました。

カッチャンはいい表情で登園してきたっけな。ヨシくんも機嫌はよかったよな。お部屋の中でも二人の間にトラブルらしきことはなかったよな。二人は着替えを始めてたよな。着替えながら二人ともブロックをいじっていたっけ。途中ヨシくんが白の棒状ブロックを何本か手にしていたっけな。それから少し経ったところでヨシくんが泣いたんだっけな。そういえば、そのとき、カッチャンも手に棒状ブロックを持っていたっけ。そうか、カッチャンも棒状ブロックが欲しかったんだ。カッチャンはヨシくんに触発されて棒状ブロックが欲しくなったのかな。「ぼくの。」ヨシくんの声が出てたっけ。とにかく二人で奪い合いが始まったんだ。カッチャンの声は聞こえなかった。でも、カッ



ちゃんはヨシくんを噛んじゃった。「僕だって使うんだよ。」ひよっとするとカッチャンもこんなふうに言いたかったのかもしれない。「カッチャン、カッチャンもこのブロック欲しかったんだ。カッチャンもこのブロック使いたかったんだ。」マリ先生はそう言いながら、カッチャンの顔を覗き込みました。カッチャンと目が合いました。「そう。欲しかったの。」マリ先生は、そっともう一度聞いてみました。カッチャンは終始無言でしたが、「うん。」目がそう語っているようでした。いや、マリ先生にははっきりそう見て取れました。

「カッチャン、今度欲しかったらお友達を噛まないで、『ぼくも欲しいよ。』って言うといいね。今度欲しくなったら、『ぼくも欲しい。』って言ってみようね。」カッチャンは、目に涙を浮かべながら、コクリとうなずきました。「ヨシくん、カッチャンもこの白いブロック欲しかったんだって。だからぼくも欲しいってヨシくんの手を噛んじゃったんだって。ごめんね。今度カッチャンにも分けてあげようね。」マリ先生は、カッチャンの気持ちを代弁して、こうヨシくんに伝えました。

まだ自分の思いをうまく伝えられない年少さん。押ししまったり噛んでしまったり引っ掻いてしまったり……。このことを笑話として語れるようになる日もそう遠くはありません。

## グループワークによるアクティブラーニングの実践

静岡大成高等学校  
英語科教諭  
林 由明

現在私が担当する高校1年生から高校3年生までのコミュニケーション英語の授業において、グループワークによるアクティブラーニング形式の授業を導入しています。今回はそのきっかけと成果をご紹介します。

以前は、教科書の文を手書きで板書し、解説し、生徒に書き写させるという作業を基本とする、講義形式の授業を展開していました。しかし、この形式での授業ではいくつかの問題点を抱えていました。それは、板書作業に時間と労力を割かなければならない点と、生徒自身の活動が少なく、集中力の維持が課題となっていた点です。

2017年の本校全教室へのプロジェクターの導入により、板書の時間が短縮できるようになりました。指導教科書の付属データにより教科書の本文はデータ化されているので、それを投影するだけで済むようになったからです。

そこで、板書時間の短縮により生まれた時間で何をするのかを考えたところ、上記の2つ目の問題点であった、生徒の活動時間が少ないことの改善に着手することに決めました。このころから学習指導におけるアクティブラーニングが注目され始め、学習方法による定着率を表した「学びのピラミッド」というものを見かける機会も増え始めていました。学びのピラミッドによると、学習定着度合いが最も高い学習方法は、「人に教える」ということです。その機会を授業内の活動に取り入れたいと考えたことがグループワークにおけるアクティブラーニング導入のきっかけでした。

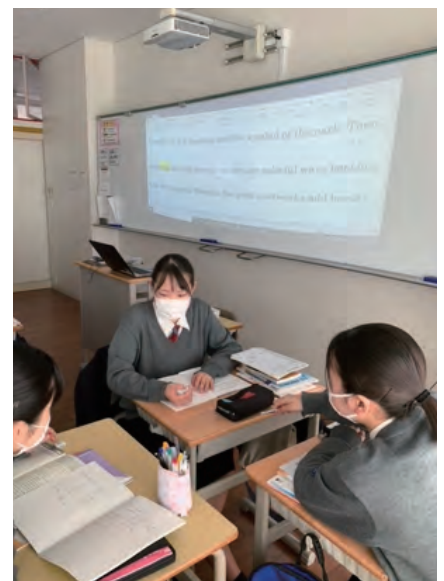


方法はいたってシンプルです。3~4名のグループを作り、その中で分かる生徒は分からない生徒に教え、分からない生徒は分かる生徒に教えてもらうことを活動の中心としました。はじめは最低限のヒントしか与えません。ただ、それだけでは解答(本文訳)にはたどり着けないので、生徒は自力で辞書を引きます。ただ、英単語1つとっても様々な日本語の意味を持つものもありますので、生徒たちはどの訳が正解なのか話し合い始めます。そこに文法事項が関わってきた際は、理解している生徒が説明を始めます。当初分からなかった生徒も、相手はクラスメートなので気軽に質問をします。私が次に取る行動は2つです。まずそれぞれのグループの進捗状況を確認し、その中で苦戦しているグループがあれば助言を行います。その後大半が答えを導き出せたら最後に解説を行います。ただ、その頃にはほとんどのグループが内容を確認済みなもので、解説というよりも答え合わせに近いものとなります。

このような授業を行うことで現れた成果

がいくつかあります。まず、生徒が主体的に学ぶことができるようになったことです。「この文法って〇〇だよな?」「この単語の意味は△△かな?」「辞書で調べてみよう。」などの積極的な発言が多く聞えるようになりました。以前の授業スタイルでは見られなかった現象です。ハードの面のメリットもあります。毎回の授業がデータで残せますので、毎回前回の授業の続きの板書から始めることができます。質問が出た箇所や、指名した生徒が問題を答えられなかった際も、以前の板書のページをすぐに表示し、再度解説をすることも可能となりました。

授業中において、教員の活動と同様に生徒の活動も重要です。いかに質の高い授業を行おうとも、生徒の活動が少なければ意味がありません。学習の定着も低下してしまいます。授業において様々なことを与える「足し算」の要素も重要ですが、同様に「引き算」の要素も大切だと思っています。大切なことは「足し算」と「引き算」を駆使し、狙いをもって生徒の活動をコントロールすることだと考えています。



# information

## 「つながる」心を育てる高校女子バレーボール部

静岡大成高等学校  
高校女子バレー  
ボール部顧問  
中山龍一

私たち高校女子バレーボール部は一般的に皆さんがイメージされる部活動だけでなく、積極的に外部とのかかわりを持てる活動を行なっています。コロナウイルスの影響で活動が自粛されてしまっているものもありますが、例年であれば、「わかふじ大会の運営補助(障害者スポーツの運営補助)」、「学校説明会の補助」、「焼津の中学校との交流(静岡福祉大学の体育館をお借りしての練習会)」といった活動を主に行なっています。

特に「わかふじ大会」は大きなイベントで、中高男女バレーボール部が力を合わせて大会中の「バレーボール競技」を運営していく活動となります。会場設営はもちろんのこと、試合の審判から障害者の方々と

の交流試合まで、様々な経験をします。過去には「わかふじ大会」だけでなく、聴覚障害を持つ方々の東海大会や全国大会の運営もしてきました。

この活動の中で最も重要なことは「経験」であると思っています。年齢や性別などの違いを越えるだけでなく、障害を持った人たちと交流するということは日常生活の中でほとんど経験することのできないことです。しかも、自分たちの専門であるバレーボールにおいて同じ競技者としてプレーすることは、多感な生徒たちにとって少なからず影響のあることです。大抵、障害者の方々の明るさに圧倒されますが…。

部活動での参加なので、「強制」されている感が強く出ることをいつも心配するのですが、生徒たちは意外と楽しんでやるもので、感心させられます。バレーボールと

いうスポーツの特性である「つなぐ」という考え方が、多くの場面で「つながる」心を育んでいっているのではないかと感じています。また、各活動が生徒自身の自立心や社会に貢献する気持ちを養うことになれば、社会に出ていったときに、自分自身に自信を持って生きる力になるのではないかと考えています。

「自慢」というほどのことではないかもしれませんが、こういった活動を継続して行なってきたということは、「生徒」はもちろんのこと、各活動にかかわってくださっている多くの方々との「つながり」があつてのことだと思います。この「つながり」が部活動のひとつの「宝」になっていくように、これからも継続して「つながり」を深めていきたいと考えています。

## 『高校生ビデオジャーナリスト』の育成を目指して

静岡大成高等学校  
放送部顧問  
溝口信宏

静岡大成高等学校放送部は、ラジオ・テレビ番組の制作を活動の中心に置いております。

番組テーマは、広く社会の諸問題にテーマを求めるもの、そして地域の問題を全国に発信するもの、この二つの分野に分けて制作しています。テーマを決めるに当たっては、部員個人が全国や地域のニュース等で疑問に思うこと、取材ロケで見つけた情報などを日常的に部活ノートに記し、これらを企画会議に持ち寄って決定しています。

本校放送部は、特に映像技術の高さでお褒めの言葉を頂くことが多いのですが、むしろ今回は、放送部として最も大切にしている活動についてご紹介したいと思っています。実は、番組を制作するに当たって最も

多くの時間を費やしているのが、そのテーマに対する基本調査です。これは、「調べ学習」を中心としているのですが、ここをどれだけ充実させるかによって、取材を受けて頂ける方、そして取材によって得られる内容に大きな差が生まれてくるからです。大変有り難いことですが、これまで取材にご協力頂いた大企業の専門職や大学の教授、その分野のプロフェッショナルな方々にも、部員達の基本調査に対する評価と制作姿勢への共感を頂いております。

番組制作のワークフローとしては、部員達のチームワークにより、主体性を持って制作テーマを選定し、必要とする知識と教養を身につけ、多種多様な方に取材を行うことで様々な価値観に触れ、それを多面的な視野を持って映像や音声のメディアで表現する、これらのプロセスで番組を制作しておりま

す。近年、高等学校における「学力の三要素」の育成が叫ばれていますが、このように挙げてみますと、実は放送部の番組制作活動自体が、その三要素を育む活動と合致しているようにも思います。昨年、放送部より、早稲田大学社会科学学部、上智大学文学部、関西大学社会学部への推薦入試で合格者を輩出することが出来たのも、大学関係者の方から、本人の学力はもちろん、放送部の活動内容とそれによる実績の部分で高い評価をして頂いたからと伺っております。

放送部は規模においては小さな部活ですが、番組制作活動を通じ、多面的な視野を持った高校生のジャーナリストの育成と、高校におけます進路実績の開拓にも貢献できるよう、努力を続けていきたいと思っています。

今後とも放送部の活動に、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

# みらい

## 躍進計画

### 03→07

## 新中期計画「静岡精華学園みらい躍進計画（令和3年度～令和7年度）」が策定されました。

去る令和3年3月29日の理事会で、静岡精華学園の新中期計画が決定しました。同計画は5年間にわたる計画であり、現在、各組織で計画を実現するために欠かせない具体的な年次計画ともいえるロードマップを作成中です。大学においては将来計画の策定と公表が法令に定められています。

新中期計画は、基本方針として「質の向上」と「安定した学園経営」を骨子としました。前者は教育機関としての質であり、教育内容として質の高さを維持するとともに向上させるというものです。目指すべき園児・生徒・学生像、目指すべき教育・教員像、目指すべき学校組織の観点から、到達

すべき目標を定め、PDCAサイクルに沿って実現を図ります。また学園経営については今後、計画的な運営を通じ、安定的経営を実現します。具体的には、入学者の安定的な確保、財務状況の改善、働き方の改善を3本柱として、組織ごとに優先順位を決めた上で着実な歩みを進めます。

計画策定にともなって、これまで理事会、評議員会の開催に合わせていた法人運営委員会を定例化し、理事長、各組織の長が情報交換する仕組みを確立したいと考えています。計画の実施状況は今後も内外に公開し、社会に期待される学校法人として責任を果たして参ります。

# 01

基本理念

### 建学の精神

「時代に即応する新しい人材の育成」

### 教育理念

「愛・自立・共生」

# 02

基本目標

### 目指すべきビジョン

「時代を先取りし、社会に支持される学園」

# 03

基本理念

### I 質の向上

- ◎教育ビジョン「目指すべき園児・生徒・学生像」
  - ・多様性を理解し、社会に貢献できる存在
  - ・自立的、主体的に行動できる人材
- ◎教育ビジョン「目指すべき教育・教職員像」
  - ・教育の質が高く、優秀な人材（人財）が存在する学園
- ◎教育ビジョン「目指すべき学園組織」
  - ・地域に開かれた学園、地域に貢献する学園
  - ・人員計画を策定し、適切な教職員配置を実施

### II 安定した学園経営

- ◎確実な定員充足「入学者の安定的な確保」
  - ・効果的かつ戦略的な広報についての検討
- ◎財務状況の改善
  - ・授業料の値上げの検討
  - ・入札や見積り合わせの徹底による経費削減
- ◎働き方の改善
  - ・貢献している人が報われるための人事評価制度の導入の検討
  - ・人件費以外の待遇改善による働き方の改善

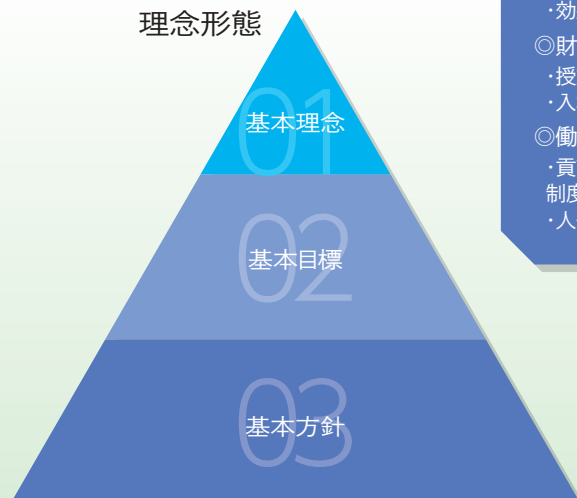


### 理念形態

01  
基本理念

02  
基本目標

03  
基本方針



### I 質の向上

- |                   |                  |                   |                     |
|-------------------|------------------|-------------------|---------------------|
| <b>1</b><br>類ビジョン | 「目指すべき園児・生徒・学生像」 | <b>2</b><br>類ビジョン | 「目指すべき教育・教職員像」      |
| <b>3</b><br>類ビジョン | 「目指すべき学園組織」      | <b>4</b><br>類ビジョン | 確実な定員充足「入学者の安定的な確保」 |
| <b>5</b><br>類ビジョン | 財務状況の改善          | <b>6</b><br>類ビジョン | 働き方の改善              |

大学	<b>1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少人数教育のシステムを確立して教育の実効性を向上</li> <li>● 教育理念、教育方針に基づいたカリキュラム等の在り方を検討</li> <li>● 学業や進路に関する在学生の相談・支援の体制を充実</li> <li>● 国家資格・公立小学校の採用試験等の合格率を高めていくための仕組みづくりを構築</li> <li>● 国家資格試験対策センターの支援力・教育力を拡充</li> </ul>
	<b>2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラブ活動等を含む学生のキャンパスライフを支援する機能を強化</li> <li>● FD・SDによる教学の質の向上（授業内容の工夫や指導方法の改善）</li> <li>● 教職協働のもとで教員・職員の垣根を越えた組織体制を実現</li> </ul>
	<b>3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生のキャンパスライフのために屋内外の環境を定期的に点検・整備</li> <li>● 大学全体のデザイン力を高めて組織運営の質的転換を企図</li> <li>● 運営協議会、教授会及び各種委員会、センター等の組織と運営の再編を検討</li> <li>● 近年の学科・専攻等の改組・新設を踏まえて専任教員の構成の全体像及び今後の採用計画等の見通しを明確化</li> <li>● 大学として将来構想を不断に進捗管理するための部署（企画戦略部）を設置</li> <li>● 法人及び大学の指針の見える化つまりは毎年度のPDCAを作成</li> <li>● 法人内の各組織間の緊密な連携関係を形成</li> </ul>
	<b>4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入学志望者・入学者の獲得に向けた広報戦略を策定</li> </ul>
幼稚園	<b>6</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【再掲】大学全体のデザイン力を高めて組織運営の質的転換を企図</li> <li>● 【再掲】近年の学科・専攻等の改組・新設を踏まえて専任教員の構成の全体像及び今後の採用計画等の見通しを明確化</li> </ul>
	<b>1</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夢中になって遊び、経験・体験の幅を広げていく子</li> <li>● 仲良く楽しく遊び、良好な人間関係の素地を築いていく子（たくさんの友達とふれ合う）</li> <li>● ここ一番集中する子（聞く態度・聞き取る力の練磨）</li> <li>● 親の期待に応える預かり保育の実践</li> </ul>
	<b>2</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもに到達と充足の喜びを、親にわが子の育ちの確かさの実感を提供</li> <li>● 小学校教育へのスムーズな接続の推進</li> </ul>
	<b>4</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入園希望者拡大に向けた集客活動の推進</li> </ul>
	<b>6</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼稚園に勤務する教職員の働き方についての検討の実施</li> </ul>



## Ⅱ 安定した学園経営

### 高校

- 1 ●R4年度からの新学習指導要領への対応 ●部活動の在り方について検討
- 2 ●高大連携の強化 ●進路指導の強化 ●学校広報の改善 ●入試戦略の明確化
- 3 ●1人一台のタブレットの利用方法を検討
- 4 ●生徒募集戦略を構築 ●スクールバスの運用方法を検討 ●近隣競合校との差別化
- 6 ●GIGAスクール構想実現のための教員のITスキルアップ

### 中高共通

- 2 ●中高一貫制の検討
- 3 ●125周年に向けて「記念事業検討委員会」を設置 ●建物設備の修繕計画を策定  
●大地震が発生した際の対処方法を策定 ●コロナ禍での授業継続体制の確立  
●事業継続計画を策定 ●法人本部及び中高の指針の見える化(毎年度のPDCA)  
●法人内の各組織間の緊密な連携関係を形成
- 6 ●教員と事務職員の業務分担の見直し ●事務職員の時間外労働を削減

### 中学校

- 1 ●R3年度からの新学習指導要領への対応 ●英語教育の強化  
●スリーライトクラスの実施形態見直し
- 2 ●公立高校受験支援 ●学校広報の改善 ●入試戦略の明確化
- 3 ●1人一台のタブレットの利用方法を検討 ●国際交流の位置づけを検討
- 4 ●生徒募集戦略を構築 ●近隣競合校との差別化
- 6 ●GIGAスクール構想実現のための教員のITスキルアップ

### 法人

- 2 ●教職員の資質向上のため、人材育成計画を策定
- 3 ●中期計画の進捗管理 ●所属との意思疎通 ●人員計画の策定による適切な教職員配置
- 4 ●学園全体の広報手段、広報媒体を検討
- 5 ●授業料値上げの検討 ●入札や見積り合わせの徹底による経費削減 ●外部資金の獲得  
●人員計画の策定による適切な教職員配置【再掲】 ●資産の効率的かつ有効な運用 ●収支の均衡
- 6 ●貢献している人が報われるための人事評価制度の導入の検討  
●人件費以外の待遇改善による働き方の改善

## 令和2年度決算の財務状況・令和3年度予算の概要

### ●令和2年度決算について

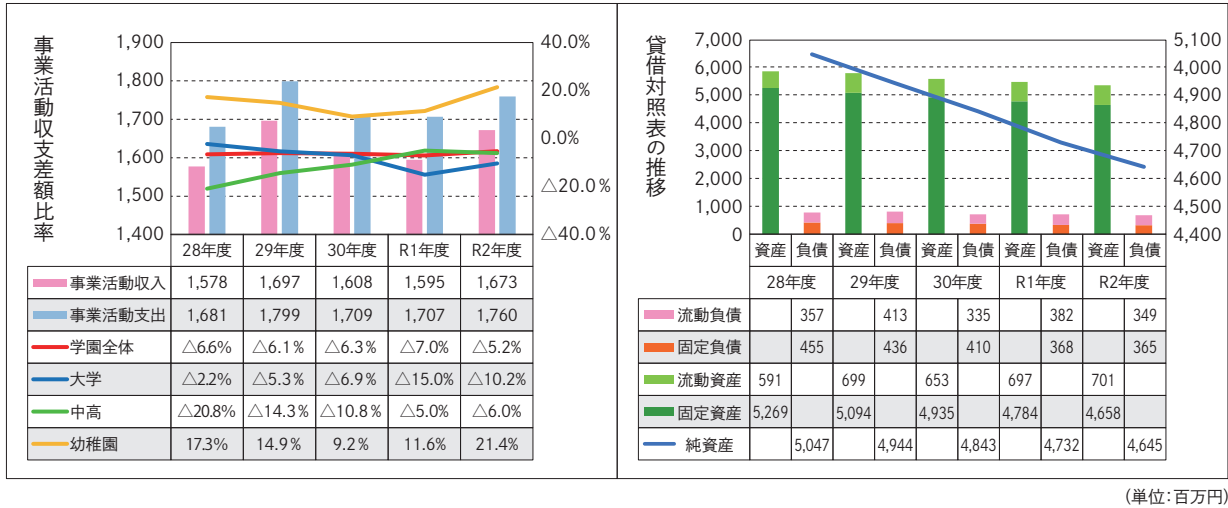
学校法人は財務を含む経営内容に着いて、教職員はもちろん、内外のステークホルダーに対して透明性を担保することが求められています。そこで、本学園の財務状況及び令和3年度予算について概要をご報告します。

- 令和2年度決算における学園全体の収支(事業活動収支差額)は、マイナス5.2%(△87百万円)となりました。
- 部門別では、幼稚園の収支は21.4%(28百万円)と良好ですが、中高はマイナス6.0%(△37百万円)、そして大学はマイナス10.2%(△90百万円)で

した。中高の収支は徐々に改善傾向にあります。大学は令和元年度以降、収支が悪化しています。

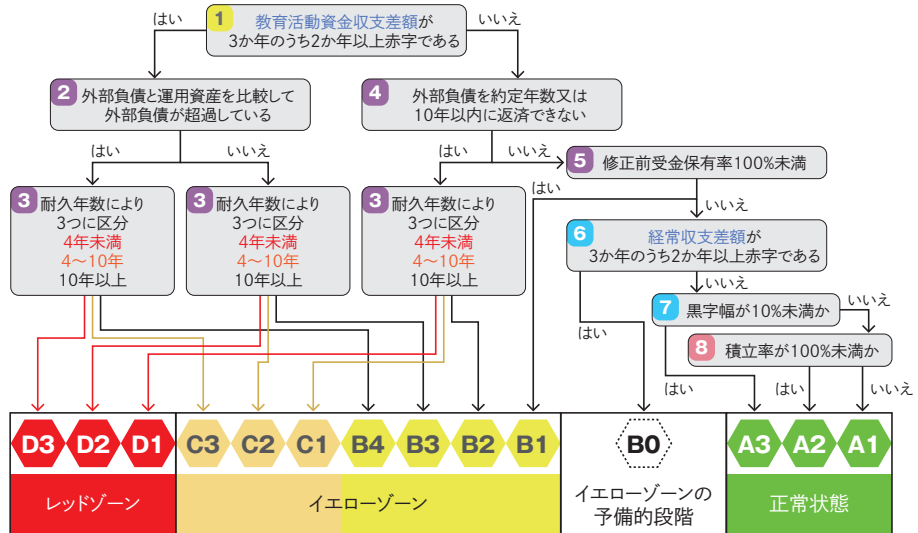
- 一方、資産と負債のバランスという観点から見た場合、本学園は総資産53億59百万円に対して、総負債が7億14百万円であり、正味財産が減少しているものの、現時点における純資産構成比率は健全水準の範囲(※)と言える86.7%を維持しています。したがって、令和3年度から始まる新中期計画では、財務の改善を優先事項としています。

※『令和2年度版 今日私学財政』(日本私立学校振興・共済事業団)によれば、医歯系法人を除く大学法人の純資産構成比率(令和元年度全国平均)は87.8%



### ●経営判断指標に基づく経営状態

- 日本私立学校振興・共済事業団では、学校法人の経営状態を8つの指標により14区分に分類し、経営判断指標としています。
- 同指標に基づく判定によれば、本学園の令和2年度決算は、上位から4番目の「B0」ランクに分類されます。イエローゾーンではないものの「予備的段階」にあるため、今後も引き続き経営の改善努力を継続してまいります。



### ●令和3年度事業計画及び予算の概要

- 昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、臨時休校や遠隔授業の実施などを余儀なくされたため、学校運営に大きな支障が生じました。今後も引き続き、学校における感染防止と拡大のリスク低減はもとより、遠隔授業環境をさらに充実させる等、新しい学びのスタイル構築を開始します。大学では遠隔授業の高度化・円滑化に向けたインフラ整備並びに学生へのWi-Fi環境の提供を推進し、中高においてはGIGAスクール構想に係る修学環境の整備を行います。
- さらに、大学では体育館及び外灯照明のLED化、校舎の経年劣化に対応する教室棟の改修工事を予定しています。中高におけるグラウンド防球ネットの設置、部活動用バスの入れ替え、そして幼稚園における園舎の屋内改

修工事及び夏季熱中症対策としての疵ミストの設置等、さらなる修学環境の整備を計画しています。

- また、幼稚園は令和元年度10月から全ての園児を対象に、高校及び大学では令和2年度から経済的に困窮する生徒等を中心に教育政策として授業料の無償化及び軽減措置が導入されました。こうした動きに合わせ、本学園独自の奨学金制度を再編成し、より重層的かつ効果的な修学支援を実現します。これらの事業計画の展開によって学園全体の収支(事業活動収支差額)は、マイナス10.4%(△1億68百万円)となるだけに、修学環境の整備と並行して、すでに記したように新中期計画のなかで財務の着実な改善を図っていきます。



SEIKA  
HISTORY

静岡精華学園の歴史と創立者杉原正市先生

静岡精華学園は、1903年(明治36年)に「私立静岡精華女学校」として創立されました。1947年(昭和22年)の学制改革(六・三制発足)により、同年静岡精華中学校が、翌年静岡精華高等学校が開設されました。そして、2004年(平成16年)、創立100周年を機に、静岡大成中学校、静岡大成高等学校と校名を変更し、男女共学となり今年で創立118年となります。

一方、1955年(昭和30年)には静岡精華幼稚園が開園、1992年(平成4年)には静岡精華短期大学が、2004年(平成16年)には静岡福祉大学が開学し、静岡精華学園は、幼稚園、中学校、高等学校、大学を擁する学園となりました。

創立者の杉原正市先生は、徳島藩(徳島県)で洋学助教(英語の教員)として教鞭をとっておられました。語学や自然科学の学識が深く、教科指導のみならず生徒の日常生活にも親切丁寧に指導相談に当たり、生徒からも深く敬愛されていた先生でした。豊富な教職経験が評価され、1876年(明治9年)、30歳で浜松県(静岡県浜松市)の浜松師範瞬養学校校長に就任し、その後浜松中学(浜松北高校)、静岡中学(静岡高校)の初代校長を歴任されました。先生は、公職を退くまで約20年間にわたり静岡県の男子教育を先頭に立って牽引してきましたが、その後、女子の教育は男子の教育と同等、いやそれ以上に重要であると考え、女子教育に献身し終生の事業にしようと一大決心を固め、1903年(明治36年)私立静岡精華女学校を創立いたしました。

開校当時の経営は財政的に極めて苦



しく、先生は私財を投じて顧みず、最後には愛読していた蔵書や、洋学に打ち込んだ当時の貴重な洋書までも売却し、学費の一部に充てていました。昼間は授業の傍ら、自ら鋸を片手に持ち校舎を修理し、夜は校舎に居を構え、寄宿生の指導に当たりました。先生は、「私立学校は他からの制約を受けることもなく、自分の理想や抱負を実行に移せるのが最大の特色で、私が最も愉快だと感じ、満足に思う所だよ。」と言って、外国人講師による英会話授業、毎月行われる運動会という名の遠足、6泊7日の修学旅行、女学校で最初の富士登山、スポーツと弁論の奨励など、当時の女子教育では他に例を見ない、斬新な教育を次々と実践していったのです。

『時代に即応する新しい女性の育成』が、私立静岡精華女学校の建学の精神でした。杉原先生は、自らが『時代に即応する新しい教育』を実践し、時代を先取りするリーダーとなって教育に身を投じました。現在の静岡精華学園の建学の精神『時代に即応する新しい人材の育成』は、創立者の意思を受け継いでいます。杉原先生が実践した教育を現代の教育に活かしていくことが、静岡精華学園で働く私たちの責務であると考えています。

## 令和3(2021)年4月～令和4(2022)年3月 学校法人静岡精華学園年間行事予定表

4月	April	5月	May	6月	June	7月	July	8月	August	9月	September
1 (水)		1 (土)		1 (火)		1 (水)		1 (日)	オープンスクール(高) オープンキャンパス(大)	1 (水)	始業式(幼中高) 災害訓練(幼中高)
2 (金)	入学式(大)	2 (日)		2 (水)		2 (金)	幼稚園開放日	2 (月)		2 (木)	
3 (土)		3 (月)	憲法記念日	3 (木)		3 (土)		3 (火)	体験授業見学(中)	3 (金)	
4 (日)		4 (火)	みどりの日	4 (金)		4 (日)		4 (水)		4 (土)	
5 (月)		5 (水)	こどもの日	5 (土)		5 (月)		5 (木)		5 (日)	
6 (火)		6 (木)	こいのぼりの集い(幼)	6 (日)	オープンキャンパス(大)	6 (火)		6 (金)		6 (月)	
7 (水)	入学式(幼中高)	7 (金)		7 (月)		7 (水)	七夕の集い(幼)	7 (土)	窓口業務休(～8/15大)	7 (火)	第2回入園説明会(幼)
8 (木)	始業式(中高)	8 (土)		8 (火)		8 (木)		8 (日)	山の日	8 (水)	
9 (金)		9 (日)		9 (水)		9 (金)		9 (月)	振替休日	9 (木)	
10 (土)		10 (月)		10 (木)		10 (土)	第1回入園説明会(幼)	10 (火)		10 (金)	
11 (日)		11 (火)		11 (金)	スターライトクラス体験(中)	11 (日)		11 (水)		11 (土)	
12 (月)	入園式(幼)	12 (木)		12 (土)		12 (月)		12 (木)		12 (日)	
13 (火)		13 (金)		13 (日)		13 (火)		13 (金)		13 (月)	
14 (水)		14 (土)	PTA総会(中高)	14 (月)		14 (水)	静岡福祉大学見学会(高)	14 (土)		14 (火)	
15 (木)		15 (日)		15 (水)	後援会総代会(大)	15 (木)		15 (日)		15 (水)	幼稚園開放日
16 (金)		16 (月)		16 (木)	幼稚園開放日	16 (金)	終業式(幼)	16 (月)		16 (木)	
17 (土)		17 (火)		17 (金)		17 (土)	オープンキャンパス(大)	17 (火)		17 (金)	祖父母参観会(幼)
18 (日)		18 (水)		18 (土)	桜凧祭(中高)	18 (日)	オープンキャンパス(大)	18 (水)		18 (土)	学校説明会(中)
19 (月)		19 (木)	修学旅行(中3) 幼稚園開放日	19 (日)		19 (月)	終業式(中高)	19 (木)		19 (日)	
20 (火)		20 (金)	修学旅行(中3)	20 (月)		20 (火)	幼稚園開放日	20 (金)	卒園生の集い(幼)	20 (月)	敬老の日
21 (水)		21 (土)	修学旅行(中3)	21 (火)		21 (水)		21 (土)	学校説明会(中) 幼稚園開放日	21 (火)	
22 (木)	幼稚園開放日	22 (日)		22 (水)		22 (木)	海の日	22 (日)	オープンキャンパス(大)	22 (水)	前期卒業式(大)
23 (金)	親子遠足(幼)	23 (月)		23 (木)	桜凧祭(中高)	23 (金)	スポーツの日	23 (月)		23 (木)	秋分の日
24 (土)		24 (火)		24 (金)		24 (土)		24 (火)		24 (金)	
25 (日)	オープンキャンパス(大)	25 (水)		25 (土)	公開授業(中高)	25 (日)		25 (水)		25 (土)	
26 (月)		26 (木)	防災訓練(中高)	26 (日)	公開授業(中高)	26 (月)		26 (木)		26 (日)	オープンキャンパス(大)
27 (火)		27 (金)		27 (月)	公開授業(中高)	27 (火)		27 (金)		27 (月)	
28 (水)		28 (土)	開校記念式典(中高)	28 (火)	公開授業(中高)	28 (水)		28 (土)		28 (火)	
29 (木)	昭和の日	29 (日)		29 (水)	公開授業(中高)	29 (木)	精華夏まつり(幼)	29 (日)		29 (水)	
30 (金)	遠足(中高)	30 (月)		30 (木)		30 (金)		30 (月)		30 (木)	
		31 (火)				31 (土)	オープンスクール(高) 学校説明会(中)	31 (火)			

SHIZUOKA  
SEIKA  
KAKUEN  
HO



### 静岡福祉大学

人間形成教育を基盤として、だれもが安心して暮らせるユニバーサルな福祉社会を構築し、さまざまな分野で地域の発展に貢献する人材の育成を目指しています。



### 静岡大成中学校

時代に適したスターライトクラスに加え土曜学習などといった主体性のあるプログラムを通じ本校ならではの意志のある教育を展開しています。



### 静岡大成高等学校

生徒一人ひとりの進路希望を大切に総合選択制。自分の進路希望に応じた選択科目を50科目以上から選択し、進路希望実現に向けて学習します。



### 静岡精華幼稚園

たくさんの遊びを通して経験・体験の幅を広げようとしている幼稚園です。経験・体験の豊富な蓄積は、子どもたちの学びと育ちの大事な土台です。